

- 目次
1. 藍旗会設立20周年記念祝賀会・金子学長を囲む懇談会・OB会費集金代行システム・かすみ
 2. 第1回藍旗賞授与式・第2回藍旗賞授与式・フロウィール関根直子さん
 3. OB会活動(硬式野球・剣道・アメフト・フットボール)
 4. OB会現役交流会・剣道大会・藍旗会の頃・各委員会報告・会費納入・収支報告書

東京国際大学体育会OB会

藍旗会報

発行
藍旗会
(東京国際大学体育会OB会)
連絡所
〒350-11 埼玉県川越市の場北1-13-1
東京国際大学同窓会内
電話 0492-32-2080

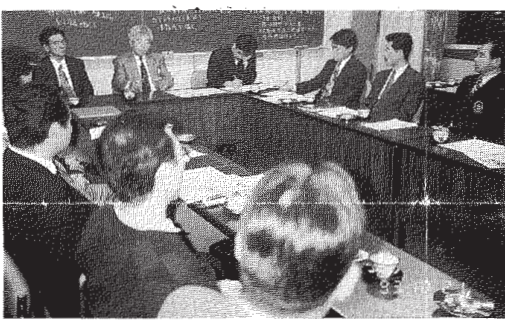
藍旗会設立20周年記念祝賀会 第1回藍旗賞授与式

主催 東京国際大学体育会OB会藍旗会



「藍旗会設立20周年記念祝賀会」には金子学長を始め多数の関係者が集まった—平成5年5月1日 東京国際大学金子泰雄記念図書館大会議室

祝賀会には、初めに東村眞会長が「藍旗会の会員も三十五名の数となった。この時、大学の発展に寄与してきている。OBと現役が、一帯となって大学の発展に寄与してきている」と挨拶があり、その後、金子学長が「本学は二年生には二十周年を迎えるが社会的評価も高まってきた。藍旗会は、



金子泰雄学長(中央)は、「体育会の中でも素晴らしい特色のあるクラブを創りたい」と話した—平成5年10月21日 国際交流研究所で

「金子泰雄学長を囲む」懇談会

10月21日 国際交流研究所で

藍旗会には、恒例となつて「金子泰雄学長を囲む懇談会」を平成5年10月21日、高田馬場の国際交流研究所で開催した。金子泰雄学長は大学の抱えている問題について詳しく話をされた。現在本学では教養部の改組に取り掛かっている。教養部の学科を学部昇格させることになり、平成七年から国際学部は、国際関係学部・国際関係学部・人間社会学部とし、社会文化学科と福祉心理学の二学科として新設する。そのために第二キャンパスに図書、食堂、教室を増設する。グラウンドを使用するために、現在の河川敷

藍旗会には、恒例となつて「金子泰雄学長を囲む懇談会」を平成5年10月21日、高田馬場の国際交流研究所で開催した。金子泰雄学長は大学の抱えている問題について詳しく話をされた。現在本学では教養部の改組に取り掛かっている。教養部の学科を学部昇格させることになり、平成七年から国際学部は、国際関係学部・国際関係学部・人間社会学部とし、社会文化学科と福祉心理学の二学科として新設する。そのために第二キャンパスに図書、食堂、教室を増設する。グラウンドを使用するために、現在の河川敷

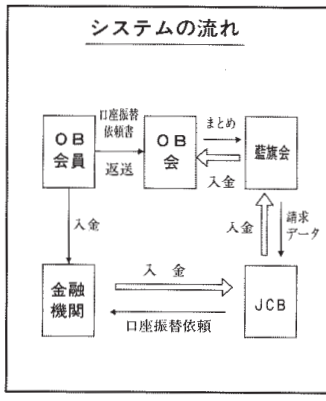
藍旗会設立20周年記念祝賀会を開催

金子泰雄「藍旗会は大学を支える柱」と激励 学長祝辞

平成五年五月一日、「藍旗会(東京国際大学体育会OB会)設立二十周年記念祝賀会」が、東京国際大学内の金子泰雄記念図書館大会議室において開催された。祝賀会には、金子泰雄学長をはじめ多くの教員職員として藍旗会員及び体育会の現役学生が参加した。また今回新たに設けられたものでスポーツ活動で貢献した人に贈られる「藍旗賞」の授与式も併せて行われた。「藍旗賞」は個人三名と団体一チームに贈られた。(二面に関連記事)

「OB会費集金代行」 システムの実現

会長 東村 眞



そこで、今年度は「OB会費集金代行」システムの実現が、JCBの回収により、各OB会が、常に、OB会費の集金を代行するシステムです。

かすみ
藍旗会(東京国際大学体育会OB会)では、スポーツ活動において顕著な成績を挙げたOB及び現役を対象として名譽ある「藍旗賞」を設置し、授与式を開催した。受賞者は各委員会において好成績を残し、人格的にも優れ、そして多くのTIU関係者に夢と希望を与えた。金子泰雄学長は「藍旗賞」の設置に貢献したのみならず、今回は各OB会の連帯の問題点の一つであるOB会費の納入率向上を目的に藍旗会として、各OB会に集金代行システムを導入して、集金代行について、OB会と契約をした。このシステムは、OB会が集金代行の請求をしなくても、藍旗会が自動的にOB会に請求を行う。OB会が集金代行の請求をしなくても、藍旗会が自動的にOB会に請求を行う。OB会が集金代行の請求をしなくても、藍旗会が自動的にOB会に請求を行う。

池内和彦氏ら
13個人が受賞する
13個人が受賞する

生まれ 1972年 8月 3日
東京都板橋区生まれ

サイズ 身長170cm 体重65kg

戦 績 高校2年時、はまなす国体に参加。1991年アジアユース大会3位。1993年東アジア大会2、5人チーム戦優勝。極東選手権大会チーム戦優勝。他数々の大会で活躍中。今年度の全日本ショナルメンバー。

体育会本部第27期役員決定

